



- ① 都道府県名
- ② 市区町村名
流域下水道の場合は、処理区分ごとの名称ではなく「流域下水道」としてください。

- ③ デザイン管理ナンバー
※GKPIにて管理
- ④ マンホール蓋の写真
高画質のデータが必要です。
基準はデータをA4で印刷したときにボヤけてない程度。
ファイル形式：JPG、GIF、TIF、PSD等

- ⑤ ピクトグラム（デザインカテゴリー）
該当する項目を選んでください。

（ピクトグラム一覧）



- ⑥ ピクトグラム通し番号
※GKPIにて管理
- ⑦ コレクションナンバー
※GKPIにて管理
- ⑧ 位置座標
④の位置座標を入力してください。



- ⑨ マンホール蓋のデザイン図
高画質のデータが必要です。
基準はデータをA4で印刷したときにボヤけてない程度。
ファイル形式：AI、JPG、GIF、TIF、PSD等
- ⑩ 設置開始年
西暦で入力してください。年度表記ではありませんのでご注意ください。

- ⑪ デザインに関する画像
高画質のデータが必要です。
基準はデータをA4で印刷したときにボヤけてない程度。
ファイル形式：JPG、GIF、TIF、PSD等
※画像にはキャプションが必要です。
キャプション：文字数は7文字程度
画像点数分のキャプションを入力してください。

- ⑫ デザインの由来・説明
255～275文字内で入力してください。
マンホール蓋のデザインの説明を重視してください。
英数字は半角で統一してください。

- ⑬ QRコード
URLを入力してください。

- ⑭ 製造管理ナンバー
※GKPIにて管理
- ⑮ 配布場所
カードの配布場所を18字以内で入力してください。

※③⑥⑦⑭のナンバーの詳細は次のページをご確認ください。



G K Pにて管理している各ナンバーの説明



3 デザイン管理ナンバー

13-100-A001

都道府県コード 市区町村コード デザイン種類・デザイン数量

- 都道府県コード
都道府県に付けられた全国共通のコードです。
- 市区町村コード
市区町村に付けられた全国共通のコードです。
- デザイン種類・デザイン数量
同一自治体がデザインの異なるマンホール蓋のカードを作る場合、そのデザインごとに先頭のアルファベットをA、B、C・・・という具合に割り振っています。マンホールカードは蓋の位置座標を記載する仕様となっているため、同一デザインの蓋であっても、位置座標が異なれば新たなカードとして発行する必要があります。その場合は、デザインは同じですから先頭のアルファベットは変えず、その後に続く番号を1つずつカウントアップしていきます。

6 ピクトグラム通し番号



31種類のテーマのピクトグラム(絵文字)でカテゴリー分けがされ、その下には連番が付けられています。連番は、カテゴリーに当てはまるカードのうち何番目のカードであるかを示しています。

7 コレクションナンバー

マンホールカードは、コレクションの楽しみを追求しているため、様々なテーマで連番が付けられています。

7-4-1-1

全カード連番 ブロック(地域)連番 都道府県連番 市区町村連番

- 全カード連番
全カード通しての連番です。
- ブロック(地域)連番
ベースカラーの9つのブロック内における連番です。
- 都道府県連番
都道府県内における連番です。
- 市区町村連番
市区町村内における連番です。

デザインの由来

設置開始 1992年

ソメイヨシノ
イチョウ
ユリカモメ

東京都の花「ソメイヨシノ」、木「イチョウ」、鳥「ユリカモメ」がデザインされたマンホール蓋です。ソメイヨシノは中央に大きく、そして、花びらの間にイチョウの葉、それらをぐるりと囲むように13羽のユリカモメが描かれています。ユリカモメは別名「都鳥」とも呼ばれ、古代から詩歌や絵画の題材とされてきました。言問橋(隅田川)の由来とされる在原業平の歌にも登場しますから、いかに古くからこの地に馴染んだ鳥であるかがわかります。このマンホール蓋は一世代前の型で、現在の蓋には中央の「東京・下水道」の文字の代わりに、管理をしやすいための文字キャップを取り付けています。

旧三河島污水処分場 噴筒場施設 ©GKPマエプロ

14 製造管理ナンバー

1604-00-001

導入年月(導入弾数) 修正回数 製造ロットナンバー

- 導入年月(導入弾数)
このカードが導入された年月を表します。
マンホールカードは4カ月に1度制作されており、例えば「1604」という番号は2016年の4月に配布が始まったという意味で、この数字は第1弾という意味にもなります。
- 修正回数
正確を期するようにつくられているマンホールカードですが、まれに位置座標などに関し、誤った情報が記載されることがあります。その場合は修正をして、この数字を増やすことで、修正の有無や回数が分かるようにしています。また増刷する際に、もっといい写真を使いたい、雰囲気を変えたいというような場合なども修正されることがあります。
- 製造ロットナンバー
マンホールカードは、1ロット2,000枚という単位で製造されています。この時のロット数の単位で、数字が上がっていきます。例えば002なら4,000枚、003なら6,000枚発行しているという意味です。
※配布時にはロットナンバーの若いカードからお配りください。